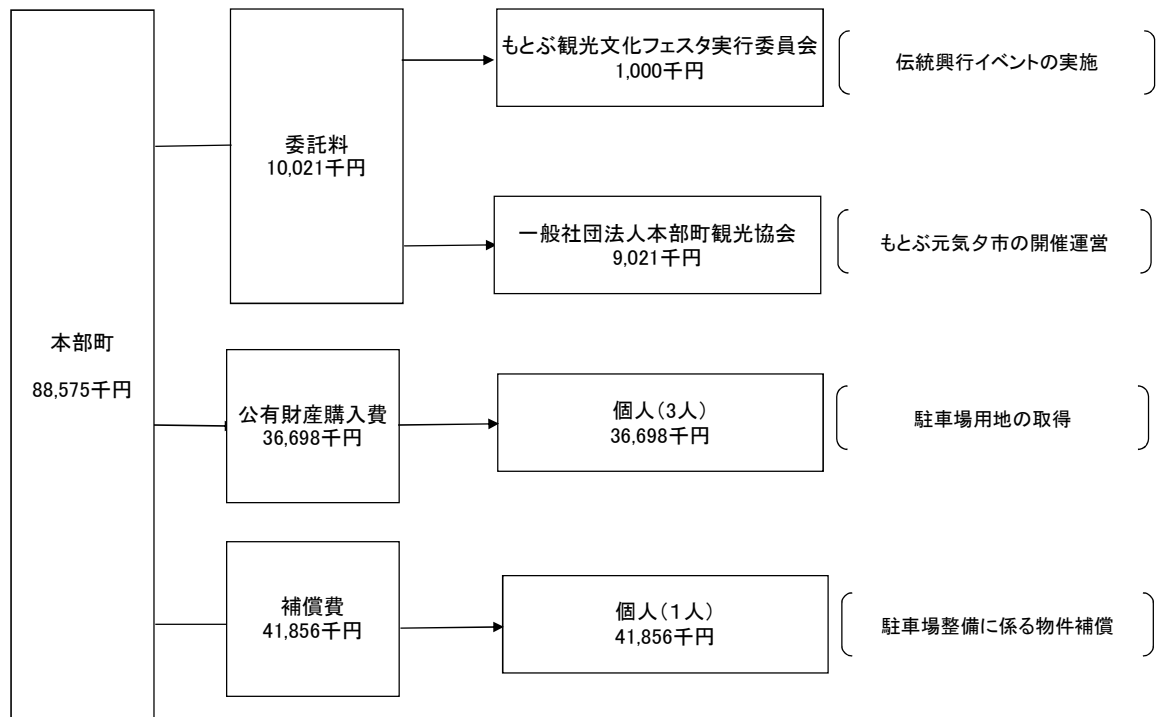


市町村名		本部町					
令和2年度(繰越)沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	1-③ 伝統興行観光化事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-1-(5)-ア			
担当部署名	企画商工観光課・農林水産課	事業実施(予定)年度	平成25～令和3年度	沖縄振興基本方針該当箇所	文化資源を活用したまちづくり		
事業内容	沖縄の伝統興行である「闘牛」や「闘山羊」、「古典・民謡」等を新たな観光資源として活用するため、ナイター闘牛や闘山羊大会、伝統芸能等の夜間イベントを定期開催する。						
効果発現年度	<input checked="" type="checkbox"/> 当年度 <input type="checkbox"/> 後年度(年度)						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)		H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	R2年度(繰越)	
	(a) 当初予算額	26,195	5,079	30,761	103,082	-	
	(b) 予算現額	42,928	5,078	36,367	93,256	-	
	(c) 増減額(b-a)	16,733	▲1	5,606	▲9,826	-	
	(d) 繰越額	-	-	-	-	82,256	
	A. 計(b+d)	42,928	5,078	36,367	93,256	82,256	
	B. 執行済額	42,923	5,078	30,057	10,021	78,554	
	うち交付金充当額	34,338	4,062	24,046	8,016	62,843	
	次年度繰越額	0	0	0	82,256	-	
	執行率(%) (B/A)	100.0%	100.0%	82.6%	10.7%	95.5%	
予算の状況の説明	予算の現額、繰越については、新型コロナウイルスの影響によるイベントの縮小や、駐車場整備用地の取得に係る地権者との交渉に不測の日数を要したことによるものである。不要額については、用地取得方法の変更(交換取得)によるものである。						
活動目標(指標)及び達成状況	R2活動目標(指標)		達成状況				
			H29年度	H30年度	R1年度	R2年度	
	伝統興行の実施	目標	(2回)	(2回)	(2回)	(2回)	
		実績	2回	2回	2回	0回	
	もとぶ元氣夕市の実施	目標	()	()	(48回)	(21回)	
		実績			45回	17回	
達成状況説明	当初計画では、伝統興行の実施を行う予定であったが、新型コロナウイルスの感染拡大の影響により開催することが出来なかった。もとぶ元氣夕市についても、感染拡大の影響を受け、イベントの開催自粛をしたことによる目標が達成できなかった。						
成果目標(指標)及び進捗状況	R2成果目標(指標)		基準値(年度)	H30年度	R1年度	R2年度	目標値(年度)
	闘牛・闘山羊大会来場者数:1,066人	目標	()	(800人)	(880人)	(1,066人)	()
		実績		768人	670人	0人	
	もとぶ元氣夕市来場者数:5,376人	目標	()	()	(7,680人)	(5,376人)	()
		実績			10,858人	3,031人	
	進捗状況説明	【闘牛・闘山羊大会】 新型コロナウイルスの感染拡大の影響により、1回の開催を目指して準備を進めていたが、1月以降の感染拡大の影響により、イベントを中止した。 【もとぶ元氣夕市】 新型コロナウイルス感染拡大の影響により、全21回の開催を予定したが17回の開催となった。入場者数は延べ3,031人の来場があった。					

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	<ul style="list-style-type: none"> 新型コロナウイルスの感染拡大により、来県自粛等が求められたことにより、町内入域者数も大幅な減となった。 団体旅行についても、感染状況が落ち着かないため旅行会社との話が進まない。 	<ul style="list-style-type: none"> コロナ後の観光客の受入体制の整備を進める必要がある。 当面の間少人数での行動制限が求められることから、個人旅行者をターゲットにイベントの企画を行う必要がある。
今後の取り組み方針		
<ul style="list-style-type: none"> コロナ後の観光客の受入体制の整備として、イベント開催時の感染予防対策を十分に行う。人と人との接触機会を減らすため、キャッシュレス決済等を導入等を推進する。 個人旅行のニーズが高まっていることから、旅行代理店や町内ホテルと連携し、パッケージツアー等を推進する。 		

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
89,039	88,575	70,859	17,716	464



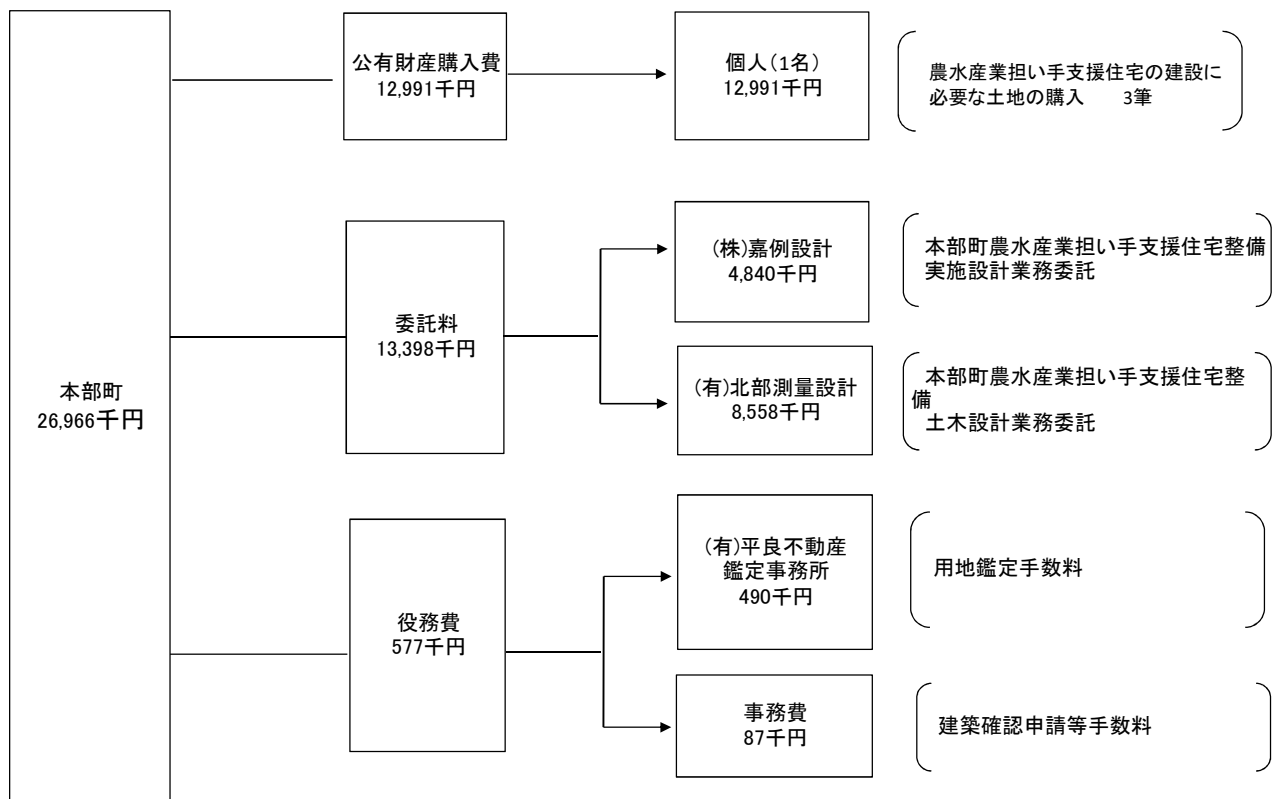
資金の流 れ、費 目・ 検 査 評 価	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	<ul style="list-style-type: none"> ○イベント実施の委託先は、当該イベントに精通した地域団体を選定する必要があり妥当であった。他の契約についても競争入札や安価な金額で随意契約ができています。 ○予算規模については、必要な金額が計上されており、不用額については、イベントが開催できなかったことによる減額や用地の交換によって生じた不用額であり妥当である。 ○費目・用途については、精算段階で検査を行い事業に即したものに限定されている。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	本部町						
令和2年度(繰越)沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	2-⑤	農水産業担い手支援住宅整備事業	沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(7)-エ			
担当部課名	農林水産課	事業実施(予定)年度	令和元～令和3年度	沖縄振興基本方針該当箇所	農林漁業の担い手の育成・確保及び経営安定対策等の強化		
事業内容	農水産業の新たな担い手確保のため、新規就業者向けの住宅を整備し、経営が安定するまでの期間の支援を行うことで産業振興及び定住促進の推進を図る。						
効果発現年度	<input type="checkbox"/> 当年度 <input checked="" type="checkbox"/> 後年度(令和4年度)						
実施方法	<input checked="" type="checkbox"/> 直接実施 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> 負担 <input type="checkbox"/> その他 ()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)		R1年度	R2年度	R2年度(繰越)	R3年度	R4年度	
	予算の状況	(a)当初予算額	7,226	42,572	—		
		(b)予算現額	7,150	28,237	—		
		(c)増減額(b-a)	▲76	▲14,335	—		
		(d)繰越額	—	—	12,994		
	A. 計(b+d)	7,150	28,237	12,994			
	B. 執行済額	7,150	13,975	12,991			
	うち交付金充当額	5,720	11,180	10,392			
	次年度繰越額	—	12,994	—			
	執行率(%) (B/A)	100.0%	49.5%	100.0%			
予算の状況の説明	予算の減額及び繰越については、用地鑑定による用地取得実績によるものや、新型コロナウイルス感染症拡大による地権者からの訪問自粛要請により用地取得に日数を要したことによるもの。						
活動目標(指標)及び達成状況	R2活動目標(指標)		達成状況				
			R2年度	R3年度	R4年度	R5年度	
	産業支援住宅の実施設計、土地調査測量業務及び用地購入の実施	目標	(実施)	()	()	()	
		実績	実施				
	目標	()	()	()	()		
	実績						
達成状況説明	設計業務については、計画通り遂行することができたが、用地購入については、新型コロナウイルス感染症緊急事態宣言等の影響による地権者からの訪問自粛要請により、計画どおりに調整を行うことができなかった。						
成果目標(指標)及び進捗状況	R2成果目標(指標)		基準値(年度)	R2年度	R3年度	R4年度	目標値(R4年度)
	産業支援住宅の実施設計、土地調査測量業務及び用地購入の完了	目標	()	(業務完了)	()	()	()
		実績		業務完了			
	【R4成果目標】 農水産業新規従事者入居戸数:4戸	目標	()	()	()	()	(4戸)
実績							
進捗状況説明	現地測量や土質調査を行い、住宅の規模や配置、施工方法、設備などの詳細な設計(図面等)を作成することができた。用地購入については、地権者の同意を得ることができたが、関係法令の手続きや登記手続きを年度内で行うことができなかった。						

推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)		改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
取組の検証	用地測量の結果、建設予定地の一部に隣地の構造物が入っており、撤去等の協議が必要となる。 建設予定地への進入路が狭いため、工事車両の通行により住民の通行の支障となる恐れがある。	建設工事を進めるにあたり、隣地地主および周辺住民へ工事内容の説明を行う。
	今後の取り組み方針	
建設工事を円滑に進めるため、建設地区の住民へ事業説明会を開催し、事業内容の周知を図る。また、建設地の隣接地主へ事業説明を行い、理解を得るよう努める。		

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額		交付対象外経費
		市町村負担金		
26,966	26,966	21,572	5,394	0



資金の流 点、流 れ、費 目・	評価	点検項目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託業務は、指名競争入札により選定をしており、妥当であると考えます。 ○事業内容に沿った予算規模となっているため妥当である。 ○費目、用途については精算段階で検査を実施しており、目的に即し、必要なものであったと判断した。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	